

煉瓦張りの家-1

2022.5.6 植木秀視

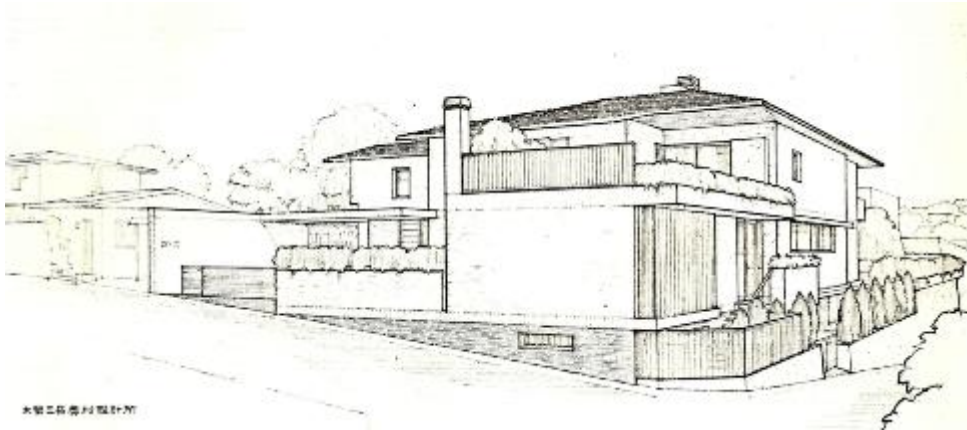
都心の住宅地、約150坪の敷地に住宅の設計が依頼されました。敷地条件は角地で南側の隣地は下に落差があり眺望が開けている環境です。道路付けは一方の道路が坂道になっていました。

基本プランは奥村先生が行い、来客の多い家族のため1階はリビング、ダイニング、客室とし、2階はプレイルーム付きのプライベートスペース、そして地階に予備室などを設けました。車庫は2台用の広さにし、アプローチスペースにも1台駐車できるようにしてあります。

構造はRCの壁構造で外壁は耐火煉瓦積みとし、内装は主に漆喰仕上げです。この耐火煉瓦は奥村先生の指定でオーダーメイドにし、大きさは360×90×？の特殊サイズで制作してもらいました。工業製品としての建築用の煉瓦やタイルと較べてこの煉瓦は品質も精度もまったく違っていたし、カチツとした質感に魅力を感じると言っていました。

冷暖房はヒートポンプ・ファンコイルユニット方式を主としていますが、リビング・廊下・食堂・厨房・浴室は温水ボイラー系からの床パネルヒーティングを用いています。

断熱は壁面は躯体内面に施した内断熱方式、屋根は躯体上面の外断熱としています。外気温の影響は外壁の耐火煉瓦と躯体の熱容量によって緩和され、室温の変動は極めて少ない状態です。



北西より見る



リビング・奥はダイニングルーム



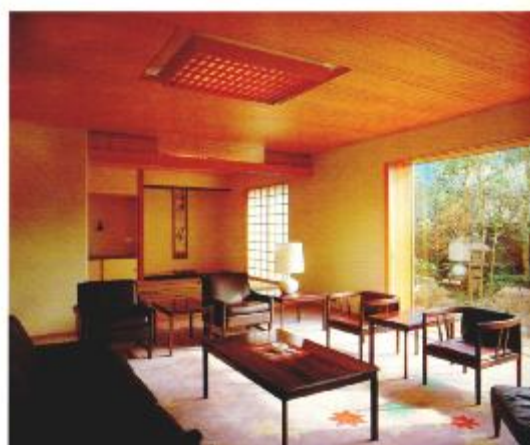
木曾三吉集 20 設計図 66

リビング・奥は和室

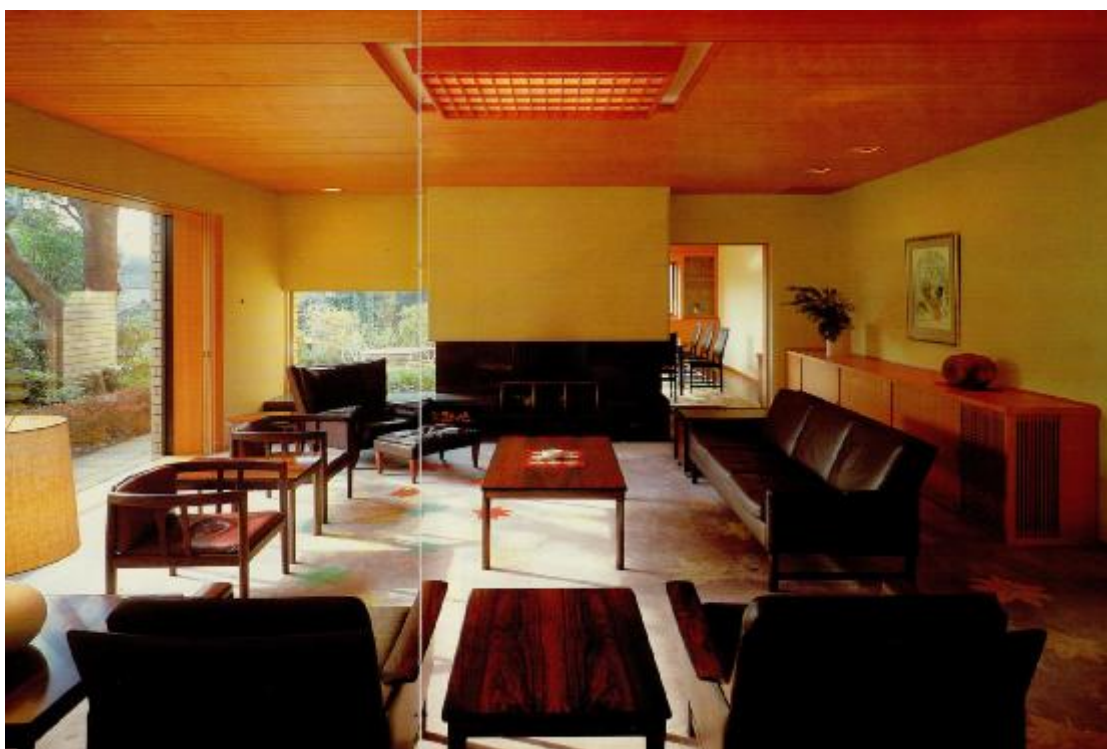
パースは奥村先生作



北側より中央に玄関



リビング、奥に和室



リビング、奥にダイニングルーム

写真：一流住宅第 15 集（徳間書店）より